



→いつもマイペースで舟を漕ぐ若舟頭の後ろ姿が、心持ち落胆しているように見えるのは気のせいだろうか。川ひとつ隔てた東京から、政界の嵐がここ矢切の渡しにも吹いてきた。



↑初の夏らしい日曜日、ジェットスキーが多かった。渡しを無視して猛スピードで通過。舟が波で転覆しようがおかまなし。

さきほどから若舟頭が口をもごもご

させながらたらずんでいる。

話しかけたいときの若のくせだが、

気づかないふりをしてクマをかまいに

行ったら、いつの間にか背後にやって

来ていた。

「どうしようもないね」

若の得意のひねくれ球だ。

「なにが？」

「ほら、あれ。ほら、総理大臣」

あまり変化が大きすぎて、どこに球

が届くかわからない。

「自分がやることは、なんでも叶うと

思っていた鳩山の次は、いいかげんの

菅なものな」

若は鳩山さんのことを、なんでも思

い通りになると勘違いしている男だと

いう。人の女房だって、自分が好きな

んだから自分のものにしてどこが悪い

ぐらいにしか思っていないという。

たしかに、その傾向は随所にみられ

た。沖縄問題がそうだ。自分が行って

頼めば絶対に大丈夫だと思っていたふ

しがある。ずっとそういう生き方をし

てきた。挫折を知らない男なのだ。

一方の菅さんだが若にいわせると、

今週のクマ

夏は苦手だ。川柳の下につないでもらって、すこし過ごしやすくなった。ときどきお客さんに愛想をふりまくとき以外は、根もとに寝転がって過ごす。植物が涼を与えてくれることをクマも本能的に知っている。



→おかしな天候が続いた年にもかかわらず、今年の梅雨告げ花(タチアオイ)は、下から順番に咲いている。てっぺんまで花が咲いたときが梅雨の終わり、のはずだ。今年はどうなるのだろう。



「おれよりひどい男」なのだそうだ。

「おれも息子を舟頭にしようとしてる。

高校はろくに行かないし、家でブラブラしてるんなら、はやいところ舟頭の技術を身につけさせてやろうと思ってな。

菅さんとこの息子もそうだろ。ろくに学校にも行かずにブラブラしてるもんだから、政治家にでもなれっていうんで本籍地の岡山から立候補させたじゃない。おれの跡でも継げよって意味じゃおなじだろ。うちは渡ししの伝統をまもる、あつちは政治をやらせる」

たしかに岡山選挙区で立候補をして落選した。常識的な人間ならまず立候補などさせないが、まわりがまわりだったから、政治家はそういう人間になるものだと言った菅さんは考えていたのだろうか。

「そんな男が日本の代表なんだから、たかがしれてるよな」

テレビカメラの前で官僚を叱りつけてみたり、貝割れ大根を食ってみせたり、子供騙しもいいところだ。大の大人を叱るんなら陰で叱れと若はいう。

「ま、どっちもどっち。日本をめちゃめちゃにするだけだよ」

とうとう若はひとりでしゃべった。よほど腹にすえかねていたのだろう。